令和7年度県民意識調査結果の概要

秋田県企画振興部

令和5年度から、新秋田元気創造プランに対応した調査項目（主に施策毎）により調査を実施している。

戦略別の平均満足度に着目して調査結果を見ると、戦略6（教育・人づくり戦略）が2.82で最も高く、戦略4（未来創造・地域社会）が2.16で最も低い結果だった。

戦略毎の概要は次のとおり。

※（ ）内は令和6年度の平均満足度

○戦略1（産業・雇用戦略）

平均満足度：2.28（2.31）

- ・戦略1の中で評価が高かった項目は「輸送機、新エネルギー、情報、医療福祉機器分野等の成長分野への参入が進んでいる。」であり、満足度は2.49。
- ・戦略1全体に対する自由記述として、雇用の創出・企業誘致に関する意見や風力発電の安全性に関する意見が比較的多く寄せられている。
- ・重要度は、「経営規模拡大や賃上げの取組への支援」が全項目中2番目に高い31.7%で、県民の関心が高く、取組の強化が求められているものと考えられる。

○戦略2（農林水産戦略）

平均満足度：2.50（2.51）

- ・戦略2の中で評価が高かった項目は、「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。」であり、満足度は2.65。
- ・戦略2全体に対する自由記述として、米不足・米価の上昇に関する意見や一次産業による地域活性化に関する意見が比較的多く寄せられている。
- ・重要度は、「農林水産業の多様な担い手の確保」が19.2%で最も高く、昨年度から4.9ポイント増加していることから、従事者確保へのニーズが大きくなっているものと考えられる。

○戦略3（観光・交流戦略）

平均満足度：2.58（2.60）

- ・戦略3の中で評価が高かった項目は、「食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。」であり、満足度は全項目中で最も高い3.04。
- ・戦略3全体に対する自由記述として、観光の発信力の強化に関する意見や県民が参加できる文化芸術・スポーツ等のイベントの増加を求める意見が比較的多く寄せられている。
- ・重要度は、「鉄道や航空・地域交通などの整備」（16.7%）、「道路ネットワークの整備」（13.6%）が高く、交通や道路整備への関心が高いものと考えられる。

○戦略4（未来創造・地域社会戦略）

平均満足度：2.16(2.15)

- ・戦略4の中で評価が高かった項目は、「デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。」であり、満足度は2.64。
- ・一方、「秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。」が全項目で最も低く、満足度は1.66であった。なお、「結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりが進んでいる。」(1.80)、「女性や若者が個性や能力を發揮して活躍できる環境づくりが進んでいる。」(2.01)を合わせた3つが下位3項目となり、これは前年度と同じである。
- ・戦略4全体に対する自由記述として、若い世代が希望を持てる雰囲気づくりや安心して子育てできる環境を求める意見が比較的多く寄せられている。
- ・重要度は、「結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備」が33.7%と全項目中で最も高く、「若者の移住促進や関係人口の拡大」(28.0%)、「高校生や大学生の県内就職の促進」(21.7%)が続いている。この結果も前年度と同じであることから、県民にとって重要度の高い分野については求める水準が高く、満足度が低くなる傾向にあると考えられる。

○戦略5（健康・医療・福祉戦略）

平均満足度：2.50(2.44)

- ・戦略5の中で評価が高かった項目は、「県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。」であり、満足度は2.79。
- ・戦略5全体に対する自由記述として、全県域の医療体制に関する意見や福祉・介護サービスの維持とその従事者への待遇に関する意見が比較的多く寄せられている。
- ・重要度は、「医療提供体制の整備」が22.3%、「介護、福祉サービスの充実」が19.7%と高く、生活に身近な医療・介護・福祉サービスへの関心の高さを反映しているものと考えられる。

○戦略6（教育・人づくり戦略）

平均満足度：2.82(2.78)

- ・戦略6の中で評価が高かった項目は、「学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな身体が育まれている。」であり、満足度は2.93。
- ・戦略6全体に対する自由記述として、学校教育の充実に関する意見や学生の地域貢献に関する意見が比較的多く寄せられている。
- ・重要度は全体的に低く、最も高い「健やかな身体や豊かな人間性を育む教育の充実」でも7.5%に留まっている。

○選択・集中プロジェクトなど重点的に取り組む施策に関する項目

- ・満足度は、「県民生活の様々な場面において、『デジタル化』に向けた取組が進んでいる。」が2.66と最も高く、「県内の『賃金水準の向上』に向けた取組が進んでいる。」が1.76と最も低い。
- ・賃金水準について、物価の高騰に比べて賃金が伸びていないことなどが影響しているものと考えられる。